

いじめ案件発生時における対応について

平尾小学校 生活指導部

いじめ発見時の流れ

いじめ発見…学級担任・学年・担任外の気づき・いじめアンケート

被害児童本人・保護者・周囲の友だち・地域からの訴えや相談

報告・聴取…いじめ発見直後

① 報告

担任と学年主任→管理職、生活指導部長への連絡・報告

② 聴取

当該児童への聞き取り、関係児童への聞き取り

※いじめ発覚から早急に判断できるように

管理職による判断…いじめ防止対策委員会の招集の是非を判断

※発見当日が望ましいが、児童への聞き取り次第では判断が遅れる可能性がある。

いじめ防止対策委員会…指導方針の決定

○今後の対応→被害児童への指導・支援

→加害児童への指導・支援

→被害児童・加害児童の保護者への対応の協議

○経過観察の方法・期間の確認

職員朝会での報告・周知…経緯・実態把握・措置について周知する

→全教職員で解決に取り組む

委員会の再招集…経過観察の結果報告

○今後の対応を協議

※解決の判断は学校長が行う。

いじめ防止対策委員会

担任・学年・養護教諭・生活指導部長・管理職・人権担当

※必要に応じて上記以外も招集（担任外・旧担任など）

※地域関係諸機関との連携が必要な場合は、管理職を窓口としてその連携を図る。